

2021 年度実施「学生による授業アンケート」

自由記述欄の意見・質問等への回答

人間福祉学科の学生の皆さま

「学生による授業アンケート」へのご協力ありがとうございました。今後の学科の教育の質の向上に活かせる貴重なご意見・ご要望をお受けいたしました。

以下、人間福祉学科の授業で実施したアンケートに対して寄せられた意見・要望に対して回答いたします。

1, 授業について

(1) コロナ禍における授業形態のご要望について

対面授業を希望する要望と遠隔授業を希望する要望のいずれの要望も受けています。

基本的には、2022 年度は人間福祉学科の専門科目については、大学の方針に準じて全面対面授業を行っています。ただし、教室収容人数 50%を超える履修学生がいる授業については、感染防止対策のため、遠隔授業（対面・遠隔併用授業も含む）で対応しています。また、新型コロナウイルス感染症感染陽性者または濃厚接触者、体調不良の学生については、遠隔授業でも受講できるように配慮し、学修の機会が得られるようにしています。

学生の皆さんが、安心・安全に大学で学ぶことができるように今後も対応していきます。個別的な要望については、各講義担当者、または、学科長、各専攻の専攻主任にご相談ください。

(2) 特例授業における「資料を配信するだけで解説がない授業」「一度も顔を見せずに資料配布で終わる授業」に対する改善のご要望について

大変ごもっともな貴重なご意見であると受け取りました。いずれも 1 年次学生からのご意見でしたので、専門科目なのか、共通科目なのかはわかりませんが、いずれにせよ改善しなければならない問題であると認識しています。特例授業のあり方については、教育の質を可能な限り維持する形で行うことを、学科の専任・非常勤の全教員に対して周知いたします。また、共通科目についても、各科目群責任者に対して、このような授業の改善に向けた働きかけを依頼します。

大学全体としても、教員の研修会において特例授業の成功例・工夫を学ぶ機会を設けて、より質の高い授業になるように努力を続けているところです。

(3) グループワークやアウトプットができる授業、実習などで直接現場を体験できる授業を増やしてほしいというご要望

これらの要望は1年次学生からお受けしました。1年次は共通科目の履修が主となり、専門科目の履修はそれほど多くありません。2年次以降には専門科目の履修が増え、さらに、ご要望にあるグループワークや実習のなどができる授業が増えてきます。ぜひ2年次以降にそのような授業を履修してください。なお、実習に関する授業は、資格取得を目指す学生に履修が限定される場合もあります。科目、履修方法の詳細については各授業の担当者にお尋ねください。

- (4) メールなどで課題を提出した際には、教員から確認の返信がほしいというご要望
複数名の学生からご要望をいただいています。課題を提出した際にリアクションがないと、ちゃんと届いているのか不安になるかと思います。各教員にはできるだけ返信を返すように周知します。

一方で、受講者の多い授業（遠隔、対面ともに）の場合、教員が複数の遠隔授業を受け持っている場合など、時間的、業務量的に個別に返信することが困難な場合もあります。その際は、時間をおいて複数人にまとめて返信を行う、翌週の授業内で口頭によって未提出者に声掛けをする、などの方法で対応させてもらうこともあります。

- (5) 遠隔授業に使用しているツール・アプリや課題の提出の仕方が、授業によって異なるので統一してほしいというご要望

複数名の学生からご要望をいただいています。学生の皆さんにはご苦労かけていることと推察します。

講義のねらい、講義内容・進め方、各教員の情報機器の環境・技能によってどのようなツール・アプリの機能が必要かは異なります。そのため使用するツールやアプリを完全に統一することは困難な状況です。学生の皆さんに混乱が生じていることも把握していますので、できるだけ、次のツール・アプリ（ポータル、G-mail、Zoom、Microsoft Teams、Google フォーム、Google class room）を使用するように各教員に周知し、それぞれの使用方法についてもゼミで指導、サポートしていきます。また、テクニカルな質問については大学の情報センターのサービスも積極的にご利用ください。

- 2, 教育環境、大学設備、駐車場、厚生、教室、学費についてのご意見・ご要望について
これらについては、関係部署別の回答をご参照ください。